

# 道連ニュース

2018年5月号 No.142

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

愛情たっぷり!

ななつぼし 贈呈が実現☆☆!

道生協連、JA中央会、労金、行政、等々と子ども食堂運営者の皆さんが参加する「子ども食堂北海道ネットワーク」は子ども食堂運営にあたって「食材調達」や「資金調達」「保険」「衛生」等々、それぞれの運営者が抱える困難への協働を進めてきましたが、4月11日(水)「子ども食堂 ぐれーす」と「新篠津農協」さんの「お米」を通じた協力関係を確認する贈呈式イベントを、ぐれーす教会さんにて行う事ができました。

JA中央会の呼び掛けに応え「新篠津農協」さんが手を挙げて頂き、特産の「ななつぼし10kg」を毎月無償提供して頂く事と、小規模運営者向けに毎月5kgを「子ども食堂北海道ネットワーク」に寄贈して頂く事を、新篠津農協組織内にてご確認を頂きました。東川農協、峰延農協さんとの連携に続く3つ目のマッチングとなっています。協同組合間連携の一つの形として更に輪を広げたいものだと考えております。

写真は「ぐれーす」代表の亀岡純子さんへ、特産ななつぼしを手渡す、新篠津農協理事、長屋さんのスナップです。新篠津農協伊達課長さんからは「お米」について、子ども達に向けてお話を頂きました。当日は、あいにくの雨と強い風の天候でしたが、新1年生も含めご近所の子も達50～60人、父母の皆さん約20人

が、愛情いっぱいの手料理を味わいました。調理スタッフや遊び担当スタッフの皆さん約15人の食べる分が不足すると云う大盛況のうちにイベントは終了となりました。子ども達の満面の笑顔に改めて協同組合の役割を重たく感じて、ぐれーすさんの運営スタッフの皆さん、新篠津農協の皆さん、会場を提供して頂いているぐれーす教会の皆さんにご挨拶をし、イベントを終了させて頂きました。

今後とも応援の輪が広がられます様、会員生協の皆さまのご協力を宜しくお願い申し上げます。

〔事務局 松本〕



## 上川地区学校生活協同組合 「第69回

## 通常総代会」開催

例年になく暖かい春の陽気の中、2018総年度の総代会が4月18日に開催されました。本年度の総代会は、選出総代100名中出席総代7名、書面議決書87名の計94名となり総代会成立要件がみたされ、資格確認後、吉越常務理事の開会宣言により議事が進行されました。事業報告では総供給高は25,484千円の実績で、計画比85.4%の達成率となり、厳しい事業活動の報告となりました。その後、事業計画等の議案が承認されましたが、昨今の組合員を取り巻く状況については、依然として食品や日用品などに対する節約志向が根強く、消費の低迷や日銀による長期金利マイナス政策、

さらには食料品の実質値上げなど一層厳しさを増しています。こうした状況で当学協は、効率的な事業活動への転換を目指し、組合員のためのサービスの提供の拡大による手数料収入の増加、ハウジング事業の定着・拡大などで黒字化を目指しましたが、最終的には損失金を計上することになりました。次年度も、学校生協の使命は「組合員のくらしに貢献し幅広い福利厚生事業を展開し、生協運動を更に発展させること」にあることを再確認し、役職員一丸となって鋭意努力していきます。

## みんなのカフェ活用と

## NPOここすけの取り組みを議論!

4月19日(木)、第18回福祉問題を総合的に考える委員会が14人のメンバー参加で開かれ、福祉問題に関する「総合的な」論議が行われました。今回の委員会には、あさひかわ福祉生協より、倉島専務・広瀬理事の参加と、4月から着任しましたNPOソーシャルビジネス推進センター事務局長斉藤幸英さんの参加がありました。

審議事項では、あさひかわ福祉生協からの問題提起「みんなのカフェの取組企画」東川町「文化交流館閉館後の建物利用」企画提案と相内先生より「NPOここすけ」(こども・高齢者助っ人センター)活動推進計画について説明と報告が行われ論議を深めました。

あさひかわ福祉生協からの提案は、地域商店街に根ざした「第3の居場所」「みんなのカフェ」と東川町

が公募した「文化交流館返還後の建物利活用」企画についての論議、「NPOここすけ」の活動提案は、「こどもと高齢者が抱える困難な課題」を、ソーシャルビジネスを通じて解決していきたい、そのために協同組合間連携をはじめ、NPO・大学・専門家集団等との連携を図る、壮大な構想が話されました。

また、報告事項では松本事務局より「ホームシェアハウス京都府視察報告」と川原事務局より「協同組合間協働推進経過報告」があり、2018年秋を目処に「JA北海道と北海道生協連」との包括協定締結、2019年を目処に「協働組合ネット北海道」の発足について展望しているとの報告がありました。

最後に、次回開催日程を、6月13日にする事を確認して会を終了しました。

### —あさひかわ福祉生活協同組合の第3の居場所づくり実現—

## オープンから3か月「みんなのカフェ銀座(交流広場)」

2018年1月20日(土)オープン、店舗は、旭川市3条通15丁目「しあわせ広場」という歩行者天国の一角に、一際目立つ青い8階建ての「銀座センタービル」1階にある。50人分の椅子とテーブルを配置し、ドリンクやおやつ、ランチタイムには健康的なバランスランチや野菜たっぷりの焼きそばなどが食べられ、平均来客数は40名ほどとなっている。片側の壁面は「ギャラリー銀座」コーナー、1か月ごとの利用で、展示希望者は年末まで埋まっている。鳥の折り紙展ではご芳名帳記録数が300名ほどの来観者が訪れた。反対側は、小さな図書コーナーを設けている。20人程度の会議スペースもあり、囲碁仲間(5名)、健康教室(15~6名)、絵手紙(5~6名)、パン&お菓子

教室(4名)、ふまねっと運動(18名)、太極拳(10名)笑いヨガ(18名)などのサークル活動が定期的で開催されている。大きなイベントとして、オープニングセレモニー108名、医学・医療の知識を市民のものに、萩原先生の医学講座2回開催(合計137名)と、2階の銀座通内科クリニックの椅子を借りるほどの来客数となっている。これらの運営を支えたのは、銀座商店街振興組合理事長や事務局長に顧問となっただき「準備実行委員会」で計4回のありかた検討会を行い、オープン後「運営委員会」となり、幅広い市民による毎月の検討やボランティア実務によって支えられています。

## お知らせ

## 北海道庁所管部の人事異動

環境生活部 暮らし安全局 消費者安全課 消費者安全グループ 生協担当  
(敬称略) 2018.4.1現在

環境生活部 暮らし安全局 消費者安全課 消費者安全グループ	060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目	電話 011-231-4111	FAX 011-232-3640
副知事	阿部 啓二	暮らし安全局消費者安全課 主幹	蝦名 勝徳
消費者安全課長	沼田 祐司	暮らし安全局消費者安全課 消費者安全グループ 主査	森 卓也